

2019年度 ゼミ生の声

穴沢大輔准教授「刑法判例研究ゼミナール」

【はじめに】

みなさんはじめまして！19年度穴沢ゼミ生の佐藤開理です。”ゼミ生の声”をご覧になっている2年生の皆さんは、数多くのゼミがある中で、どのゼミに入ろうか悩んでいることだろうと思います。ここでは、穴沢ゼミの魅力について詳しくお伝えしようと思っているので、みなさんのゼミ選択の参考になれば幸いです。

【穴沢ゼミの魅力】

今年度の穴沢ゼミは、全員で10人と穴沢先生の1人で活動しています。他のゼミに比べて比較的少人数での活動となりましたが、その分ゼミ生1人1人と穴沢先生のつながりが強かったような気がします。年齢も若く、話し上手な穴沢先生は非常に優しい先生で、OBの方との懇親会や、お知り合いの他大学ゼミとの交流の場を積極的に設けてくれます。

【活動内容】

春学期にはゼミ生個人がそれぞれの気になる刑法分野を選び、研究した判例をもとにレジュメを作成、個人発表当日に議論を展開する形で進めていました。最初は何から手を付けて良いかわからないものですが、回数を重ねるごとにスムーズにできるようになりますし、困ったことがあれば穴沢先生が的確なアドバイスをくれるので心配はありません。

夏休み期間には夏合宿もゼミ生主体で行われます。今年は静岡県にある伊東温泉で1泊2日の合宿をしました。今年は会議室がとれず、客室でのゼミとなりましたが、教室などで行うゼミとは一味違った楽しい議論ができました。夜にはまた1部屋に集まって、当時行われていたバレーのワールドカップを見ながら宴会を楽しみました。

2日目には伊東を観光しようということで、城ヶ崎海岸までドライブ、海辺にあるお寿司屋さんで美味しい海鮮を堪能しました。行き当たりばったりの計画だったにも関わらず、良い観光ができたと思います。



秋学期には毎週穴沢先生が最近の最高裁で判決された興味深い判例を予習教材として、各自が予習してきたことをもとに、賛成か反対かで別れて熱い議論を交わしています。

【最後に】

「刑法に興味はあるけど難しそう…」「何なら刑法が苦手かも…」と感じている方から「刑法を勉強したい!」と思っている方まで、ゼミを行っていくうちにいつの間にか刑法が好きになってしまうゼミ、それが穴沢ゼミです。

少しでも興味が湧きましたら、これより以前のゼミ生の声もぜひ読んでみてください。ゼミの特色や雰囲気がより掴めるのではないかと思います。それではみなさんの有意義なゼミ生活になることを祈って、穴沢ゼミでお待ちしております!

